



東京都防衛協会

Tokyo Defense Association



日本国民として
自分の国は自分で守ろう！

■東京都防衛協会の今日までの歩み

1966年3月	東京都自衛隊協力会連合会として発足 櫻田 武(日経連会長) が初代会長に就任
1967年6月	東京都防衛協会に改称(創立1周年記念大会)
1968年7月	東部防衛協会の設立に併せ、 会長が東部防衛協会 会長を兼任
1978年6月	杉田一次(元陸上幕僚長)が第2代会長に就任
1983年2月	瀬川美能留(野村証券会長)が第3代会長に就任
1988年5月	宮崎 輝(旭化成会長)が第4代会長に就任
1989年10月	全国防衛協会連合会の設立に併せ、 会長が全国防衛協会連合会 会長を兼任
1992年6月	山口信夫(旭化成会長)が第5代会長に就任
1998年6月	女性部会、青年部会が発足
2010年6月	佃 和夫(三菱重工会長)が第6代会長に就任
2017年2月	創立50周年記念行事を開催
2023年4月	大宮英明(三菱重工相談役)が第7代会長就任

■活動の紹介



日本の平和と繁栄のために

我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。ロシアによるウクライナ侵略により、国際秩序を形作るルールの根幹が破られる事態が東アジアにおいても発生する可能性を排除することはできず、また我が国周辺では力による現状変更の圧力が高まっています。

国民ひとり一人が『自分の国は自分で守る』という気概を持ち、総合的な国力を最大限活用して我が国自身の能力と役割を強化すると共に、同盟国である米国や同志国等と共に我が国及びその周辺における有事、一方的な現状変更の試み等の発生を抑止することが極めて重要です。

東京都防衛協会は、国民・都民の防衛意識を普及高揚させると共に防衛省自衛隊を激励・支援する団体であり、区市町村の有志会員で結成されている36個の地区協会及び法人・個人の特別会員等で構成され、約1万人の会員が活動しています。(令和6年10月現在)

主な事業

- 1 防衛に関する講演会、研修などの主催
- 2 自衛隊に対する協力・支援、激励
- 3 自衛官募集及び退職自衛官の就職援護への協力
- 4 機関紙発行及び防衛関係資料などの作成・配布
- 5 全国防衛協会及び自衛隊協力団体との連携・協力

会員の種別

- 1 正会員 東京都に所在する区市町村の各防衛協会
- 2 特別会員 本会の趣旨に賛同する法人・個人(50社、130名)
- 3 推薦会員 会長が推薦する有識者



東京都防衛協会に加入している 36 個地区市区町村協会 (地域別)

東京 23 区 (12 協会)

板橋区、江戸川区、北区、自衛隊荒川地区協力会、渋谷区、新宿区、杉並区、世田谷区、千代田・中央区、豊島区、練馬区、目黒区

北多摩地区 (13 協会)

昭島市、国立市、小平市、狛江市、立川市、西東京市、東久留米市、東村山市、東大和市、府中市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

南多摩地区 (3 協会)

多摩市、八王子市、日野市

西多摩地区 (8 協会)

あきる野市秋川地区、あきる野市五日市、青梅市、奥多摩町、羽村市、日の出町、福生市、瑞穂町

(令和6年10月現在)

東京都防衛協会

Tokyo Defence Association

〒162-0844

東京都新宿区市谷八幡町 13 番地

東京洋服会館 9 階

電話：03-6280-8427 FAX：03-6280-8428

Mail:info@tda.tokyo

web:http://www.tda.tokyo



JR 総武線・都営新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」より徒歩 3 分